



学習管理計画

外国語学習科目群【日本語】

科目：日本語 6 (3202)

高校 3 年

学年度 2024 年の後期

第 2 学習単位

項目：どこへ なんて だれと行きますか

教師名：ベンジャマツ・タナウツ

時間：100 分

1. 学習基準と指標

学習項目 1 コミュニケーションのための言語

トー1.2の基準：情報交換に言語コミュニケーション能力があって、効率的に感情や意見を表現する。

指標

トー1.2 モー4/1 自分のこと・様々な身近なこと・日常生活の状況について情報交換をするのに簡単な言葉で会話できる。

トー1.2 モー4/4 自分・友達・家族・身近なことに関する情報の依頼または共有をするために話せたり書けたりする。

トー1.3の基準：話すことや書くことで「情報・概念・様々なことに対する意見」を発表する。

指標

トー1.3 モー4/1 自分・友達・日常生活・周りの環境について話せたり書けたりする。

学習項目 2 言語と文化

トー2.1の基準：言語とネイティブの文化との関係を理解する。時と場所に依りて適切に活用できる。

指標

トー2.1 モー4/1 会話している中に日本の社会的なマナーや文化に従って、言葉、語気、ジェスチャーを使用する。

学習項目 4 言語と、コミュニティや世界との関係

トー4.1の基準：校内・コミュニティ・社会の様々な場面で外国語を使用する。

指標

トー4.1 モー4/1 教室、教育機関、日常生活で発生する実際の状況または模擬状況で言語でコミュニケーションを取る。

2. 目的

2.1 知識の面【K】

移動方法・一緒に移動する人・移動時間に関する文法を正確に理解できる。

2.2 スキル/処理過程の面【P】

1. 学生は移動方法と一緒に移動する人について教えられる。
2. 学生は移動方法と一緒に移動する人について伝えられる。
3. 学生は移動時間について教えられる。

2.3 望ましい特性の面【A】

1. 規律正しい。
2. 勉強熱心。
3. 仕事に対する行動熱心。

2.4 学習者の重要な能力【C】

1. コミュニケーション能力。
2. 思考能力。
3. ライフスキルを活用する能力。
4. テクノロジーを活用する能力。

3. 本質

移動は日常生活の一部のため、移動方法・一緒に移動する人・移動時間について伝えられるようになる必要があるし、学習者にとっても身近な事である。学習者は乗り物・人物・時間に関する単語、そして移動の物語を伝える時の文法も学んで、日常生活に活用できる。特に学生が日本へ行く時に移動に関する情報の伝え方の知識が非常に必要になる。学生はこの知識を旅行の計画に活用できて、日本での生活が楽になる。

4. 学習内容

「...で行きます/来ます/帰ります」は移動方法を伝える時に使用される文法である。使用原則は下記の通りである。

移動方法を伝える時の文法は、

-移動方法の単語 で 行きます/来ます/帰ります。 意味は...で行く/来る/帰る。

-なん で 行きます/来ます/帰ります か。 意味は何で行く/来る/帰る。

*徒歩での移動（あるいて）を除き、「で」は付けない。

「...と行きます/来ます/帰ります」は一緒に移動する人のことを伝える時に使用される文法である。使用原則は下記の通りである。

-一緒に移動する人の単語 と 行きます/来ます/帰ります。 意味は...と行く/来る/帰る。

-だれ と 行きます/来ます/帰ります か。 意味は誰かと行く/来る/帰る。

*一人での移動（ひとりで）を除き、「と」は付けない。

期間

分単位は時刻を伝えるのと同じ形式を使用する。

時間単位は「じ」から「じかん」に変える。

単語	意味
ごふん	5分
じゅっふん	10分
じゅうごふん	15分
にじゅっふん	20分
にじゅうごふん	25分
さんじゅっふん	30分
さんじゅうごふん	35分
よんじゅっふん	40分
よんじゅうごふん	45分
ごじゅっふん	50分
ごじゅうごふん	55分
はん	半
～じかん	...時間
いちじかん	1時間
にじかん	2時間

期間に関する問答の方法

- 「出発地」から「目的地の場所」までどのくらいかかりますか。 出るところから到着するところまでどのくらい時間がかかるか。

- 「期間」 くらいかかります。 ...くらい時間がかかる。

5. 学習の証拠（作品/ワーク）

1. 移動に関する方法・一緒に行く人・移動時間を含めて会話を作成して書く。
2. 移動に関する方法・一緒に行く人・移動時間について会話しているビデオを作成して、TIKTOK というアプリに挙げる。

6. 成果の評価

評価項目	評価方法	ツールあるいは 評価の手段	評価基準	合格基準
知識の面 -学生は移動方法・一緒に移動する人・移動時間に関する文法を正確に理解できる。	-ワークシートに移動方法・一緒に移動する人・移動時間についての書かれた会話を確認する。	-ワークシートに移動方法・一緒に移動する人・移動時間についての会話の書き込みに関する評価フォーム。	改善必要 (1) まあまあ (2) 良い (3) 優秀 (4)	-60%以上
スキル/処理過程の面 -学生は移動方法と一緒に移動する人について教えられる。 -学生は移動方法と一緒に移動する人について伝えられる。 -学生は移動時間について教えられる。	-TIKTOK への作品を確認する。	-TIKTOK への作品を評価するフォーム。	改善必要 (1) まあまあ (2) 良い (3) 優秀 (4)	-60%以上
望ましい特性の面 -規律正しい。 -勉強熱心。 -仕事に対する行動熱心。	-行動を観察すること。	-望ましい特性を評価するフォーム。	改善必要 (0) まあまあ (1) 良い (2) 優秀 (3)	-良いレベル以上
学習者の重要な能力 -コミュニケーション能力。 -思考能力。 -ライフスキルを活用する能力。 -テクノロジーを活用する能力。	-行動を観察すること。	-学習者の重要な能力を評価するフォーム。	改善必要 (0) まあまあ (1) 良い (2) 優秀 (3)	-良いレベル以上

7. 学習活動

活動	学習者の能力	能力を示す行動
学課の導入段階		
<p>1. 学生の皆はこれまで学んで来た場所に関する単語、そして文法「場所へ行きます/来ます/帰ります」の使用原則について、パワポを見ながら、復習する。その後、学生は先生が言った文章を聞いて、自分で単語や文章を言う。</p> <p>1.1 文章：わたしはセントラルへ行きます</p> <p style="padding-left: 2em;">わたしはコンケンへ行きます</p> <p style="padding-left: 2em;">わたしはチェンライへ行きます</p> <p>学生は聞いた文章の意味を回答する。</p> <p>学生：わたしはセントラルへ行きます。</p> <p style="padding-left: 2em;">チャン・パイ・センタン</p> <p style="padding-left: 2em;">わたしはコンケンへ行きます。</p> <p style="padding-left: 2em;">チャン・パイ・ジャンワット・コンケン</p> <p style="padding-left: 2em;">わたしはチェンライへ行きます。</p> <p style="padding-left: 2em;">チャン・パイ・ジャンワット・チェンライ</p> <p>1.2 文章：わたしは学校へ来ました。</p> <p>学生は聞いた文章の意味を回答する。</p> <p>学生：わたしは学校へ来ました。 チャン・マー・ロンリアン</p> <p>1.3 文章：わたしはうちへ帰りました。</p>	<p>思考能力。</p>	<p>- 学生は聞いた文章に対して自分の意見でその文章の意味を言う。更に、元知識で単語の意味を考えることができる。</p>

<p>学生は聞いた文章の意味を回答する。</p> <p>学生：わたしはうちへ帰りました。チャン・クラブ・バーン</p>		
<p>練習/実施の段階</p>		

<p>1. 学生は下記の通り、先生が言った文章を聞いて、移動方法に関する文法を学習する。</p> <p>飛行機 で 行きます。</p> <p>バス で 行きます。</p> <p>自転車 で 帰ります。</p> <p>2. 先生に移動に関する質問がされたことによって、学生の皆で元知識に繋げて新しく学んだ文法をまとめる。その後、先生は当てもなく学生を選んで文章を作成してもらおう。</p> <p>3. 学生はパワポから「一緒に移動する人」についての伝達を学び始める。その後、下記の通り、先生に聞いた文章の意味を言ってみてもらおう。</p> <p>家族 と 行きます。</p> <p>彼女 と 行きます。</p> <p>友達 と 行きます。</p> <p>4. 学生は元知識と繋げながら、皆で筆記帳に一緒に移動する人に関する新しい文法や、一緒に移動する人に関する質問をする仕方をまとめて書く。</p> <p>5. 学生の皆は新しい知識の交換、そして全部の単語の復習を復習する。</p> <p>6. 先生は学生にペアになってもらって、シナリオを考えさせて、「行き先、移動方法、一緒に移動する人」についての会話を作成してもらおう。</p> <p>7. 先生は発表させるために、当てもなく学生を選ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 思考能力。 - コミュニケーション能力。 - ライフスキルを活用する能力。 	<ul style="list-style-type: none"> - 学生は先生が言った事態を聞いた り、演じたのを見たりしたら意味を推測できる。 - 学生は元知識を新しい知識に繋げて、自分の意見で文章の意味が言える。 - 学生は新しい文法の知識をまとめて、系統的に友達や先生に新しい知識を発表し、皆が簡単に理解できる。 - 学生は伝えることができ、知識・理解を伝達するのに新しい文章が作れる。 - 学生は友達や先生と意見交換ができる。 - 学生はシナリオを考えて、日本語で適切に会話が作成できる。それより、他の人と一緒に活動することができる。 - 学生は「状況・行き先・移動方法・一緒に移動する人」について話せる。
---	---	---

<p>8. ～分、～時に関することを復習して、新しい知識である期間の言い方に繋げる。</p> <p>9. 学生は自分で移動時間についての伝え方を拝察する。そして、自分のペアの相手と学び合いをする。</p> <p>10. 学生は移動時間についての問答を練習する。</p> <p>11. 先生は学生と当てもなく「行き先、移動方法、一緒に移動する人、移動時間」について問答する。</p> <p>12. 学生にあきことともだちの教科書の第4課「つうがく」に使用されるアニメのビデオを見せて、理解できた範囲でそのシナリオや聞いた文章の意味を教えてもらう。</p>		
<p>応用の段階とまとめ</p>		
<p>1. 学生にペアになってもらって、「行き先、移動方法、一緒に移動する人、移動時間」についての会話を作成してもらう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 思考能力。 - ライフスキルを活用する能力。 	<ul style="list-style-type: none"> - 学生は自分の意見を表現できるし、シナリオを考えて日本語で適切に会話の作成ができる。それより、

<p>2. 当てもなく 3-4 ペアの学生を選んで、クラスの前に来てもらって発表させる。</p> <p>3. このコマで学生の皆は知識を一緒にまとめる。それから、先生は各ペアの学生に TIKTOK で「行き先、移動方法、一緒に移動する人、移動時間」についての会話をしているシナリオのビデオを作成してもらおう。</p>	<p>- コミュニケーション能力。</p> <p>- テクノロジーを活用する能力。</p>	<p>他の人と一緒に活動することができる。</p> <p>- クラスの前で発表できる。</p> <p>- 全体的なまとめが話せる。そして、日本語で「行き先、移動方法、一緒に移動する人、移動時間」について会話ができる。</p> <p>- テクノロジーが創作的で適切に活用できる。</p>
--	---	--

9. クラスメディア・ツール・学習資源

- パワポ

- 「どこへ なんて だれと行きます」のワークシート

- 「どのくらいかかりますか」のワークシート

- あきことともだちの教科書の第 4 課「つうがく」でのアニメのビデオ

- TIKTOK

25												
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

合格基準

良いレベル以上で合格と評価される。

質レベルを判断する基準

得点レベル	10-12点	7-9点	4-6点	4点より下
質レベル	優秀	良い	まあまあ	改善必要

第5課の復習問題の「れんしゅうC」で移動方法・一緒に移動する人についての会話の筆記を評価した結果を示す表から、下記のようにまとめることができる。

- 優秀レベルの取得者 人数 人 割合 (%)
- 良いレベルの取得者 人数 人 割合 (%)
- まあまあレベルの取得者 人数 人 割合 (%)
- 改善必要レベルの取得者 人数 人 割合 (%)

上記より、移動方法・一緒に移動する人についての会話の筆記を評価した結果で、良いレベルに合格した学生の人数は.....人で、割合にすると.....%になる。

署名.....評価者

(ベンジャマツト・タナウツト)

日付 (日月年)

採点基準

点数	採点基準		
----	------	--	--

レベル	4	3	2	1	重さ/重要性	合計点数
評価項目						
言語の使用	<ul style="list-style-type: none"> - 全ての単語が正しく綴られている。 - 内容に合う単語が使用されている。 - 全ての文章の文法は正しくなっている。 - 句読点を正しく入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> - 単語の綴りはほとんど正しくなっている。 - 内容に大体合う単語が使用されている。 - 各文章の文法は大体正しくなっている。 - 句読点を大体正しく入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> - 一部の単語の綴りは正しくなっている。 - 内容に合う単語がある程度使用されている。 - 各文章の文法は一部だけ正しくなっている。 - 一部だけ句読点を正しく入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> - 単語の綴りは大体間違えている。 - 単語の使用は内容に合わない。 - 各文章の文法は間違えている。 - 句読点を入れていない。 	2	8
内容	内容の詳細は、指定された単語および文法の特徴に最もよく一致している。	内容の詳細は、指定された単語および文法の特徴に大体一致している。	内容の詳細は、指定された単語および文法の特徴に一部だけ一致している。	内容の詳細は、指定された単語および文法の特徴に一致していない。	1	4
合計					3	12

TIKTOK の作品の評価基準

25																			
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

合格基準

良いレベル以上で合格と評価される。

質レベルを判断する基準

得点レベル	16-20点	11-15点	10-6点	6点より下
質レベル	優秀	良い	まあまあ	改善必要

TIKTOKの作品を評価した結果を示す表から、下記のようにまとめることができる。

優秀レベルの取得者 人数 人 割合 (%)

良いレベルの取得者 人数 人 割合 (%)

まあまあレベルの取得者 人数 人 割合 (%)

改善必要レベルの取得者 人数 人 割合 (%)

上記より、TIKTOKの作品を評価した結果で、良いレベルに合格した学生の人数は.....人で、割合にすると.....%になる。

署名.....評価者

(ベンジャマツト・タナウト)

日付 (日月年)

採点基準

点数 レベル 評価項目	採点基準				重さ/重要性	合計点数
	4	3	2	1		

言語の正確度	<ul style="list-style-type: none"> - 単語と文型はどの文章でも正確になっている。 - アクセントが正しくなっている。 - 単語や文章の中で強い音や軽い音を完璧に強調している。 	<ul style="list-style-type: none"> - 単語と文型は大体正確になっている。 - アクセントが正しくなっている。 - 単語や文章の中で強い音や軽い音を大体強調している。 	<ul style="list-style-type: none"> - 単語と文型は一部だけ正確になっている。 - アクセントが出ていない。 - 単語や文章の中で強い音や軽い音を強調していない。 	<ul style="list-style-type: none"> - 単語と文型は間違えている。 - 発音の原則に従わないことによって、コミュニケーションが取れていない。 	2	8
暢達な言語使用	<ul style="list-style-type: none"> - 途切れることなく続けて話せたり、はっきりと話せたりして、コミュニケーションが取れている。 	<ul style="list-style-type: none"> - 話している時に少し途切れがあるが、まだコミュニケーションが取れている。 	<ul style="list-style-type: none"> - コミュニケーションが取れるように一単語ずつ話したり、止めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> - 一部の単語しか話せないで、コミュニケーションが取れていない。 	2	8

ジェスチャー/ 話し中の口調	- 会話に 適したジ ェスチャ ーで行動 し、適切 な口調で 話してい る。	- ジェス チャーが ないが、 会話に適 切な口調 で話して いる。	- 読書の ように不 自然で話 してい て、面白 みに欠け る。	- ほとんど 話せない。	1	4
合計					5	20

望ましい特性の評価基準

科目コード：nj3202 科目：日本語6 高校3年

指図：先生は指定されたリストに従って望ましい特性を評価し、評価レベルに合った欄に✓を付ける。

番号	望ましい特性の評価基準			質レ ベル	評価結果の まとめ
	規律正しい	勉強熱心	仕事に対する行動熱心		

	授業の出席・ 時間通りに宿 題を提出する のに規律正し い。			注意深く、熱 心に学習して いる。			与えられた宿 題を遂行する ための決意と 努力を持つて る。			忍耐強く、障 害に直面して も決して諦め ずに宿題を完 了する。			点数 の合 計			
	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	12	合格	不合 格	
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																

採点基準

定期的に行動を実行したり示したりする 得点 3 点

偶に行動を実行したり示したりする 得点 2 点

質レベル	優秀	良い	まあまあ	改善必要
------	----	----	------	------

学習者の重要な能力を評価した結果を示す表から、下記のようにまとめることができる。

優秀レベルの取得者 人数 人 割合 (%)

良いレベルの取得者 人数 人 割合 (%)

まあまあレベルの取得者 人数 人 割合 (%)

改善必要レベルの取得者 人数 人 割合 (%)

上記より、学習者の重要な能力を評価した結果で、良いレベルに合格した学生の人数は.....人で、割合にすると.....%になる。

署名.....評価者

(ベンジャマツト・タナウツト)

日付 (日月年)

パワポの例

